

令和7年度 7月10日 学校協議会 議事録（要約）

会長：大束貴生、副会長：田中啓昭

「生徒たちが夢をかなえられる学校にしたい」との目標を掲げ、活動中。

1. 校長挨拶

各参加者自己紹介

2. 昨年度の取り組み報告

進路・学習関連

- ・授業満足度は5年度とほぼ同様の数値を維持しており、依然として高水準である
- ・授業以外の学習時間の少なさが課題。図書室・自習室の利用は増加している。
- ・補習等を増やして自主的に学習する生徒が増えたが、ボランティアに頼っていることが見られ学校としての組み立てが必要。
- ・7年度は専門学校進学者が増加傾向。今年度も進学希望者は高水準と予想。
- ・高レベルの大学合格者も数名いた。

規律・生活指導

- ・去年の遅刻数が約2300を超えて非常に多かった。
- ・登校時刻を8:25としており、繰り返し遅刻している生徒が複数名いる。
- ・7年度は遅刻件数が大幅に減少。
- ・清掃が行き届いているとは言えないが、例年以上にポスター掲示も含めて美化清掃の啓発を継続中である。

学校の活力

- ・学校紹介パンフレットの適時修正や生徒参加型の学校説明会にした。
- ・行事（体育祭・文化祭）は生徒の満足度は高い。

働き方改革

- ・ストレス度合いの判定に基づく職場の健康リスク指標は全国平均より低め。
- ・ペーパーレス会議の実施、会議の効率化、一斉退庁日の徹底などで長時間勤務者は減少傾向。
- ・デジタル採点導入による業務負担軽減。
- ・校長が各教員に対して年 2～3 回の授業見学を実施。去年に引き続き、教員の研修を行っていく。
- ・伴走型支援による研修を実施。「業務における足し算の多さ、引き算の少なさ」を課題として議論。

3. 授業・検定・学習支援

- ・各種検定は積極的に受験を促しているが、受験料の高さが壁に。支援策の検討が必要。
- ・各教科から令和 8 年度の教科書用図書一覧表で確認してもらい承認を得るが、来年度は具体的に教科書を示す指示があった。

4. 生徒支援

- ・生徒の抱える問題が見えづらくなっている。
- ・S Cの利用率は高くなっている。
- ・今年度から大阪府でスクールソーシャルワーカー（SSW）の体制が大きく変わったため、学校内でも情報共有を促し、SSW 相談事があれば適宜、連携をとるよう対応を強化する。
- ・生徒指導部と保健部の統合を予定。迅速な生徒対応及び支援と教員の働き方改革に見合った体制を組む。
- ・カウンセラーなどに予算を重点配分。

5. 人権・研修

- ・生徒には三年間かけて人権学習を実施。教職員には年二回の研修。
- ・今年も外部講師からの「生の声」を聞く機会を設ける。

6. 国際交流・広報

- ・令和 8 年までに全校で姉妹校提携をする。具体的には韓国を想定しており、この夏に韓国の高校を訪問する。
- ・現在、姉妹校であるカナダの高校は予算的に困難であるため韓国と提携予定。
- ・12 月までに提携の予定。
- ・これを機に修学旅行も韓国にする予定。
- ・学校案内パンフレット「さつきマガジン」のリニューアル。「足を運びたくなる」デザインへ。
- ・生徒による広報活動（説明・動画作成等）も推進。
- ・司会、誘導、学校説明を生徒にしてもらい教員がバックアップすることで等身大の生徒を見てもらえるような説明会を目ざす。

7. 校内環境整備

- ・食堂を生徒が集う憩いの場となるようにこの夏休みを使って大きくリニューアルをする。具体的にはテーブル・椅子の一部をカフェ風に変更（市内業者と調整中）。
- ・食堂前にある中庭には人工芝を張りパラソルテーブルを設置することで利用可能なスペースに変える。
- ・椅子の錆取り、壁・床清掃などリユースを推進。
- ・生徒や地域住民、幼児が「ほっとできる」空間を整備。
- ・PTA とともに連携して環境づくりを継続。

8. 部活動・行事・予定関連

- ・部活動には年間計画書・報告書提出を義務化。
- ・大阪府における部活指導の在り方に関する方針に基づき休養日を設定する。
- ・エアコン新設（作法室・設置費 50 万円・三階アスベスト対応含む）。
- ・モニター新設（事務前・自治会前）。

9. いじめ防止体制

- ・ 早期対応の体制整備、定期的なアンケート実施。
- ・ 現時点で深刻ないじめ事案は発生していない。

10. その他・意見交換

- ・ 自宅学習の習慣づけや学習時間の自己管理が課題。
- ・ 他校種との情報交換を通じて対応策を模索。
- ・ 学校の「特色」や「さつきらしさ」をどう打ち出していくかが今後の鍵。
- ・ 「母校があること」の価値が再確認される中、閉校や定員割れ問題にどう向き合うか、地域と連携した戦略が必要。

11. 感想・総括

- ・ 「ここまで変わるとは」という驚きの声あり。
- ・ 校内の雰囲気・風土が良い方向に変化してきた。
- ・ 生徒が楽しそうに登校する様子に対し、保護者の安心と協力意欲が高まっている。
- ・ 「この学校でよかった」と思える学校づくりを引き続き目指す。